

しまん



施設長 佐野毅

ちよっとイイ話

最近、インターネットにこんな記事が載っていました。

「満員のバスの車内で泣き止まない赤ちゃん、運転手の言葉に乘客「いいねー」の声」

所は都内某所。真夏の炎天下の昼下がりが。満員のバスの車内で突然赤ちゃんがぐずり出し、いつまで経っても泣き止まない。お母さんは他の乗客に迷惑を掛けまいと大汗かきながら必死で赤ちゃんをあやし続ける。しかし、赤ちゃんはますますエスカレートして大声張り上げて泣き続けている。

やがて10分ほどして、運転手の明るい口調で車内アナウンスが流れた。「お母さん。大丈夫ですよ！赤ちゃんですから気にしないでください。きっと眠いか、お腹が空いたか、お尻が気持ち悪いか、といったところでしょうか！」

それを聞いて、お母さんは安堵の表情で周囲の乗客に何度も会釈した。周囲の乗客も皆笑顔でお母さんを見守った。

このバスの車内の微笑ましいチョットした出来事が、インターネット（スマートフォン）を通じて「運転手の神対応」として、たちまちあちこちに拡散したのです。

この話は、私たちの日々の生活の中で沢山の



医務室便り

健康管理室長 川名とし子

このお便りが皆様のお手元に届きます頃は、房総半島は豊かな秋の実りで一杯なことでしよう。「シジリカリ米の田んぼは黄金色一色に染まる頃かと存じます。巷では「運動・行楽・芸術・散歩」そして「秋の夜長・読書を楽しむ時期」です。

当施設では、利用者・職員の健康の保持増進のために「健康診断」を実施しております。

職員は「4月」に、利用者の方は「秋」に実施します。また、例年実施している「インフルエンザワクチン接種」ですが、今年は10月後半に実施する予定で現在準備中です。皆様のご協力を御願いたします。

スタッフの動きですが、8月10日付けで、三浦君江看護員を新たに迎えました。より一層看護の質の向上を目指して努力いたします。

私自身は、この4月に今までの上総湊地区健康管理室から、こちらの健康管理室に異動となり早6ヶ月。この間、私に与えられました業務遂行の為に神の御恵と佐野施設長をはじめ多くのスタッフの方々の温かい思いやりに感謝の日々です。

これからもう指導ご協力をよろしくお願いたします。



健康診断

ヒントを与えていると思います。「さり気ない心配り」は、言うは簡単、行うは難しですが、法人（望みの門）の基本理念である「人にしてもらいたいと思うことを自分も人にしなさい。」の実践に向けて、改めて「ハッ」と気づかされたお話しでした。



3階便り

介護員 中根由美恵

〜ありがとうございます〜

私が「介護」を仕事として働き始めてから一年になります。その前は介護に携わるなんて夢にも思っていませんでした。

その頃シングルマザーとして子育てしながら親の助けを借り生活していた為、手に職を付けたく調べていた所この世界のことを知りました。

お年寄りのお世話をする事もやりがいがある尊い仕事ではないかと思いついて働かせて頂く事にしました。

それから、必死に勉強し資格も取り、現在に至っております。こちらの施設でお世話になってから早一年と半年。



「介護」という業務自体はこれまでの施設と同じでも、紫苑荘とは内容が違う事だらけで未だに戸惑う事はあります。ですが、利用者様から「ありがとう」と言われる度にやりがいが生まれて、頑張れる力をいただいております。こちらこそ「喜び・やりがい」をありがとうございます。

2階便り

介護員 塚本一樹

〜望みの門紫苑荘で働き始めて〜

望みの門紫苑荘にて働かせて頂き早いもので今年8月26日で1年が経とうとしております。介護の仕事を始め、身体障害者支援施設、老人保健施設と働いてきましたが、特別養護老人ホームは初めてで介護の経験はありますが、業務の仕方や流れ、利用者様の顔と名前、ADLの把握など理解して対応していくには、難しさもあり大変さもありません。

今は、慣れてきた事もあり、業務をこなしていけるようになりましたが、業務をこなしていくだけではなく、人を相手にしているという尊さ・怖さや「ありがとう」と言ってもらえる嬉しさを感じながら、紫苑荘の職員として、利用者様の日々の体調管理はもちろんの事ですが、思いやりをもってより良く快適に生活をして頂けるように努めて行けたらと思っております。

事務所便り



この8月に「後期高齢者医療保険制度」と「介護保険制度」の改正が行われました。いずれも、費用負担額が変わる（人によっては負担額が高くなる）制度です。すでに各ご家庭に、それぞれの市役所からご案内が届いているかと思いますが、ご不明な点がございましたら、紫苑荘事務所でもご相談できますので、どうぞご連絡ください。

新規職員紹介

看護員 三浦君江さん（8月10日付採用）

〜よきはたらきをお祈りいたします〜

ご協力ください

〈捨て布（古着）などが不足しています。〉

利用者様の汚れた身体を一時的に拭き取るための「使い捨ての布類」が不足しています。

〈ご家庭で「不用になりました」「Tシャツ・肌着類・タオル類」などがございましたら、紫苑荘までご提供くださいれば幸いです。皆様のご協力をお願いいたします。また、提供くださった「布類」を「程よい大きさ」に切り分ける作業を



お手伝いいただける方も随時募集しております。

家庭用のハサミで布類を裁断する作業です。ぜひご協力をお願いいたします。

社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特別養護老人ホーム 望みの門紫苑荘
千葉県富津市富津617の14
0439(87)5077
発行責任者 施設長 佐野毅